

「みんなで賃上げ。ステージを変えよう！」



～2024春闘勝利総決起集会～



主催者挨拶をする澤田精一会長

「2024春季生活闘争勝利福島県中央総決起集会」は、3月2日（土）福島市のまちなか広場において開催し、構成組織・加盟組合、県北地域連合から総勢450名が参加した。諸橋連合福島事務局長、菅井福島地区連合議長が議長を務め、主催者挨拶で澤田精一会長は、令和6年能登半島地震・東日本大震災について触れたのち、『物価高のもと、私たち働く者の暮らしは厳しさを増している。また、労働人口の減少、そして流出により人手不足は深刻化し、一人ひとりのかかる仕事の負荷が増している。

賃上げの期待は、昨年以上、かつてなく高まっている。デフレマインドを完全に払しょくし、生活の安定、個人消費の拡大、国・県全体の生産性向上、人材の確保・定着と人材育成につなげるためにも、

昨年を上回り、物価を上回る賃上げを実現しなければならない。

その様な状況下、大手組合を中心に精力的に交渉を進め、交渉の結果、昨年を上回るベア、初任給の引上げなどの賃上げ回答を引き出したとの報道が連日続いている。しかし、福島県で多くを占める、中小企業の組合では、これから要求書を提出し、中央、大手の妥結結果を踏まえて交渉するところも多い状況である。中小企業を中心に、今年の春闘では、労務費を含めた適正な価格転嫁を実現することが課題である。

2024春闘は、経済も賃金も物価も安定的に上昇する経済社会へとステージの転換を図る正念場である。労働組合と使用者は社会的責任を果たすため、今答えを出さなければならない。

「みんなで賃上げ。ステージを変えよう」のスローガンのもと、2024春季生活闘争に勝利し、組合員はもとより、すべての働く仲間へと持続的な賃上げの流れを波及させる。この断固たる決意をもって、構成組織、地域・地区連合、単組、組合員の総力を結集し、最後の最後まで、ともに闘い抜こう！」と決意を述べた。



連帯・激励のご挨拶を頂いた皆様

(左から) 金子恵美立憲民主党県連代表・村澤智国民民主党県連幹事長
狩野光昭社会民主党県連代表・宮下雅志県民連合幹事長

引き続き、金子恵美立憲民主党県連代表、村澤智国民民主党県連政調会長、狩野光昭社会民主党県連代表、宮下雅志県民連合幹事長から連帯、激励のご挨拶を頂いた。

構成組織の決意表明では、JAM・松本事務局長と私鉄総連・菅野事務局長の両名から強い決意が示された。続き、荒川副会長による「集会アピール」電機連合・塩澤事務局長による「最低賃金賃上げの取り組みの決意表明」が採択されガンバロー三唱では、全員で拳を掲げ春闘への決意を力強くアピールし集会を終えた。



決意を述べる JAM 松本事務局長（左）と私鉄総連 菅野事務局長（右）



アピール採択する荒川副会長（左）と最低賃金のアピール採択をする電機連合 塩澤事務局長（右）

集会終了後には、2つの梯団に分かれデモ行進を行い、福島市の中心街を「みんなで賃上げ！ステージを変えよう！！」「みんなで価格転嫁！ステージを変えよう！！」など、労働者・生活者目線の声を上げながら練り歩いた。

大変な盛り上がりの中開催することができた。参加いただいた皆様に感謝申し上げます。



ガンバロー三唱で決意アピール！



みんなで賃上げ！デモ行進！！